

## 【公表】事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	スタジオそら幡ヶ谷		
○保護者評価実施期間	2025年11月11日 ～ 2025年12月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っています。	避難訓練では多くのお子様、保護者の方が参加できるように日程を組んでおります。また、参加できない方向けにはメールで非常災害時のフローについてお知らせしています。	より多くの方がご参加、ご周知いただけるよう、掲示やメールなど複数の方法を組み合わせず周知してまいります。
2	お子様が安心感をもって通所してくださっています。	お子様の年齢やご様子に合わせ、気持ちを汲みながら活動を行っています。支援計画に沿いながらも、楽しいと思えるようプログラムを組んでいます。	年齢によっては、行き渋りなども出てくるかと思えます。また年齢に応じて事業所の役割も変化してくるかと思えますので、その時々のお子様の様子や取り巻く環境に合わせて支援内容を変化させることができるよう、研修などを通じて療育技術の向上に努めてまいります。
3	お子様ことを十分理解し、お子様と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成され、放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われています。	独自のアセスメントツールの使用や、面談を通じて、保護者の方とお子様のニーズを、複数の職員で分析、話し合いながら作成をしています。また、支援内容につきましても、目標が達成されるよう、職員で打ち合わせをしてプログラムを検討しています。	保護者の方の要望を聞き取りながら、アセスメントや普段のお子様の様子を観察した上で、中長期的な視点も持ちながら、複数の職員でさらに充実した内容になるよう作成してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの活動等のスペースの確保が不十分なことがあります。	元々活動スペースが広くないですが、複数のお子様と同時に活動したり、お子様の活動内容によって狭く感じてしまうと思われます。	スペースを広くしたり人数を制限することはできませんので、同時に活動するお子さんのプログラムを工夫することで、活動に必要なスペースが確保できるよう、職員間で連携してまいります。
2	お子様や保護者に対して活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果の発信が十分ではありません。	掲示やメール等で周知を行っていますが、周知の仕方が不十分のようです。	定期的に掲示を新しくする、メールを送付する等、保護者の方が必要な情報にアクセスできるよう、複数の手段を組み合わせながら周知をしていきます。
3	面談や子育てに関する助言等の支援について不十分と感じている保護者がいらっしゃいます。	定期的な面談を実施しており、療育の最後は毎回フィードバックをしておりますが、保護者の方が期待する内容についてお話できていないかもしれません。フィードバックにつきましては時間の制約もあり、当日の活動のみのお話となってしまうことがあります。また、職員からも「最近のご様子はいかがですか?」などの声掛けが不十分かもしれません。	時間が確保できれば、フィードバック時に活動内容の話だけではなく、最近の様子を伺ったり、いつでも面談を実施できることを周知してまいります。

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名	スタジオそら幡ヶ谷
------	-----------

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 58 回収数 41 回収率 70.69%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	13	3	0	少し狭いがよく工夫して活動してくれていると思います。 他児との適度な距離感が確保されています。	各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	40	1	0	0	もう少し多いといいなどは思うが先生方はよくしてくれていると思います。	法令上の配置基準を満たしております。職員の欠動がある際も対応できるよう、社内で連携しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	7	0	2	お手洗いの段差などはあるが、気になる高さではないと思います。 荷物の置き場所や部屋が一つ一つの空間はわかりやすくついでです。	事業所内の構造化に努めております。建物の構造上、バリアフリーではない箇所がございますので、何かお手伝いが必要な場合はお気軽にお声がけください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	3	1	2	換気ができる窓があればと思います。 清掃が行き届いていると感じます。	引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境を目指します。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	1	6	0	嫌になってしまったときの声かけに疑問を感じることがあります。 その時の困りごとを臨機応変に対応して頂きます。	社内研修の充実を図り、より支援の質を向上できるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	2	0	3	公表している支援プログラムというのが分かりません。 事前の説明やフィードバックはしっかりとカリキュラムに沿って行っていると思います。	HPにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう努めてまいります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36	5	0	0	子どもの特性に合わせ、必要な支援を一緒に考えながら、進めて頂いています。	引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	4	1	3	家族支援、移行支援についてはよくわかりません。 こどもの課題に合わせて支援内容を設定してもらっています。	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	4	0	1	気持ちの切り替えが難しい時は、計画通りではなく無理強いをせず様子を見られます。	打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	6	1	1	固定化されていると思います。 毎回違う内容、アプローチで取り組んでいます。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5	19	10	他との交流はないはずですが。	ニーズが少ないため事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	4	1	0	利用者負担については放課後デイサービスになる際に確認できていませんでした。 入所当時、説明を受けました。	引き続き、丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	1	1	2	適切な説明がありました。	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心がけてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	7	8	9	毎月会報で情報提供があります。	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っていませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後も、何かございましたらお気軽にご相談ください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35	3	1	2	時間をとってもらうほどではなく、通所の日に少し話したいと思うことがありますが、忙しそうにされているのを見ると声をかけられません。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	6	3	0	面談はあまりないと思います。 面談は定期的に行っています。 通所時に近況の相談などもできます。	支援計画の更新に合わせて、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけください。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	6	1	1	担当者が専任ではないです。 子どもも親も安心して何でもお話できています。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	14	10	13	15	そのようなイベントはないですが、なくても不満ありません。 見学中は保護者同士情報交換を行っています。	ニーズが少ないため実施はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	7	1	10	なかなかそのような機会がありません。 相談を持ちかけたらすぐ対応してもらえます。	お気軽に相談いただけるような環境を整えることを意識しております。お話しいただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	5	3	0	普段のフィードバックで行われています。	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	5	2	5	見たことない気がします。 ホームページなどでの情報発信に力を入れていると思います。	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っています。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	3	1	2	隣のフィールドバックも聞こえてしまいます。 事務室が見えないようになっており、取扱いに気になる点はありません。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	2	2	1	説明されたことがないと思います。 たぐさんの掲示物があり、説明も受けています。	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	0	1	2	したことない気がします。 公園へ逃げる避難訓練など定期的に行われています。	定期的に避難訓練を実施しております。会員の皆様にも参加の協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	4	1	4	聞いたことないと思います。 ドアの施錠等適切に使用されています。	安全計画を策定し、社内で研修を行っています。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	3	0	10	些細なことでも説明があります。	事故対応について、マニュアルに定め社内で周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	3	0	1	本人に気持ちのムラがあるので、行きたい時と行きたくない時があります。 先生方が優しく出迎えてくれます。	お子さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	36	2	0	3	楽しみにはしてないが嫌がる事もなく、日常の中の1つになっています。 毎回楽しみにしています。	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	6	1	1	学年が上がると定期利用がなくなるのが、残念です。 こちらの心配事など丁寧に聞いてくれ、その時その時で臨機応変に活動プログラムで対応してくれるので非常にありがたいです。	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

## 【公表】事業所における自己評価(放課後等デイサービス)

事業所名		スタジオそら幡ヶ谷				
		公表日 2026年 3月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	十分な活動スペースを確保できるよう、活動の内容や順番を工夫をしています。	お客様の年齢や特性を考慮した上で、活動内容を調整し十分なスペースが確保できるようにしてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	予約に応じて配置人数の調整を行っています。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	メニュー表の使用など視覚補助等を用いて事業所内の構造化に努めています。情報伝達についてもカードやハンドサイン等を活用し、配慮を行っています。	区分で部屋の使用の仕方が違うため、活動場所の環境整備もきめ、引き続きお客様が分かりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃の他、毎月のクレンリネスチェックで点検を行っています。	見えない部分の清掃も含め、お客様にとって引き続き環境整備に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	お客様のと育成や状況に合わせ、クールダウンの部屋を予め用意しています。	クールダウンで使用可能な部屋が、常時そのために使用できる訳ではないので、必要時使用できるように職員間で連携を図りながら、引き続き環境整備に努めてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	療育前の打ち合わせ時や終礼時に職員間でお客様の情報を共有しています。必要に応じてスタジオ会議を開催し、ケース検討や研修に取り組んでいます。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者評価を実施しています。頂いた評価やご意見を元に職員間で話し合い、改善につなげています。	より多くの会員様にご回答いただけるよう周知し、職員全体で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々の朝礼・終礼やスタジオ会議等、職員間で話し合い、改善につなげています。	職員がより多く参加できる話し合いの場を設けるなど、引き続き、より良い支援ができるよう機会を設定してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者評価は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	全社員での研修や、社内研修、スタジオ内研修、また社内サイトやマニュアル等により、学びの機会を常に設けております。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成し、HPにて公表しております。また、プログラムを多くの方に知っていただけるよう、HPでの掲載について掲示で周知しております。	より多くの方に知っていただけるよう、引き続き掲示などで周知をしていきたいと思っております。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析しております。	引き続き、より良い支援ができるようにアセスメントツールの活用を努めてまいります。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	どのお客様に対しても、複数の職員でケース会議を行い、作成しております。	より多くの職員がケース会議に参加させるよう日時を設定するなどしていきたいと思っております。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画に沿った活動を行うよう、研修や育成を行い、その日通所されるお客様には打ち合わせを行い、活動内容を検討しています。	時間の制約で打ち合わせが十分で場合もあるため、より充実した内容になるよう、努めてまいります。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	社内独自のアセスメントツールの活用その他、日々の行動観察や保護者からの聞き取りをもとに行っています。	どの職員でもアセスメントが実施できるよう、研修などを通して療育技術の向上に努めてまいります。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者や園・学校等にも必要に応じて対応しています。	引き続き、内容に沿ってより良い支援ができるように努めてまいります。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	打ち合わせを行い、目標の達成状況を確認して方針を決めています。前回担当者との共有も行き、話し合いながらプログラム内容を決めています。	より打ち合わせの内容を充実させていけるように、方法などを検討してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	前回の内容なども振り返りながら、様々な先生が担当することで、飽きないように楽しく取り組める工夫をしています。	固定化が必要な内容については意図的に行い、お子さまが楽しく活動できるよう工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	基本は個別療育を中心に取り組んでいますが、本人やご家族の方からの要望に沿って、集団活動の目標を設定しています。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼・昼礼を行い、振り返りや注意事項などを共有しています。	時間の都合上十分でないこともありますが、今後さらにに綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼時に活動の報告、振り返り、保護者と話した内容などを共有しています。	より支援の質の向上につながるような情報共有、議論になるよう、内容を充実させてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援手法や達成度が分かりやすいように留意しながら記録を取り、次回の支援が計画の達成に近づくようにしています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法等を確認できるようにしてまいります。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施してまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0	4つの基本活動 ①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供、のうち、主に①②④を組み合わせて活動を実施しています。イベントの際など、③も組み合わせることもあります。	③地域交流についてはお買い物イベント、遠足など、あおぞら以外のものも長期休み等を利用して実施に努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動の中で、お子様が選択したり、意思表示ができるような機会を設けています。	引き続き、お子様の自己決定ができる機会を作り、尊重した支援を行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心して参画しております。必要に応じて他の職員も参画できるよう調整をいたします。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者や学校からの要望など、必要に応じて、相談支援事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っております。	事業所連絡会や、個々の連携を通じて、より連携が取りやすい体制を整えてまいります。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	3	保護者から共有いただいたり、必要に応じて学校との情報共有を行っております。	学校との情報共有は、保護者の要望により行っているため、十分といえない部分があるが、今後はより積極的な連携を図ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	一部児童に限定されるため、より積極的な連携を図ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	ほとんどそのようなケースはございませんが、保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	一部児童に限定されるため、より積極的な連携を図ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	事業所連絡会などを通じて研修の機会をいただいております。	今後も個別での連携も含めて助言を受ける機会を作っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者を中心して参加しております。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎回の療育後のフィードバック、支援計画の面談時にご家庭・園での様子等を伺い、共通理解を持つよう努めております。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。また、HPやアプリ等で情報発信も行っております。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めるのと同時に、継続して情報にアクセスできるよう、掲示やメール等で周知してまいります。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	作成時に聞き取りを行い、保護者や本人の要望や意向の確認を行っています。	今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	面談を行い、計画内容の説明・同意を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	主にフィードバックの時間を通じて、保護者とのコミュニケーションを密に取り、相談しやすい関係性の構築に努めています。状況によっては面談の機会を設けています。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるお声掛けができるように努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	ニーズが少ないため、実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談窓口を設置し、掲示の上周知をしています。契約時にも説明をしています。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っています。毎月おたよりも発行しています。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報書類は鍵付きの書庫で管理しております。また、フィードバック等は他の保護者との距離をとり実施しております。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離などを、十分に留意いたします。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードや文字での提示など、理解度に合わせた提示の仕方を工夫しています。保護者の方とは日頃からコミュニケーションを取るよう心がけています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	イベント等で地域のお店を利用するなど地域交流を図っています。HPやSNSで活動の紹介をするなど、地域や一般の方に向けても情報発信をしています。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行っています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に避難訓練やその他研修、マニュアルの読み合わせ等を行っています。	職員、保護者、お子様が幅広く訓練に参加できるよう、引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	フェイスシートや発作時対応シートを提出いただき、毎年確認しています。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	食事の提供はありませんが、アレルギーの有無・内容についてはフェイスシートに記入の上ご提出いただいております。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、計画に沿って社内で研修や訓練を行っています。	道具の軽微な補修などがなかなか対応できていない状況のため、対応を検討していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	熱中症の注意喚起など、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。	引き続き、内容の周知を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	日々の打ち合わせの中で共有・対応の検討を行っています。また、ヒヤリハット報告書を作成しております。	事業所内で、ヒヤリハットの分析を行い改善策を随時検討してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に虐待防止研修を実施しています。また、必要に応じて児童相談所・子ども家庭支援センターやその他の関係機関と連携を図っております。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	必要な状況があれば、事業所内で検討、また虐待防止委員会に報告し、マニュアルのフローに沿って対応をしています。	引き続き、必要な手続き、保護者の同意を得た上で、慎重に判断してまいります。